



事故を起こしてしまったり… 事故の被害に遭ってしまったり…

Surfline  
Surfline

## 交通事故の疑問 教えてQ&A

まさか自分に限って…と思っても、いつ起きるか分からない交通事故。突然の交通事故では、何をどうしたら良いか分からないという方も多いのでは？ ケガの治療から、保険、車両の修理など…交通事故の疑問にお答えします！



### 第8回

#### 事故状況が説明した内容と違っていたら… 保険代理店からのアドバイス

事故状況について、当初保険会社に説明した内容と結果報告が違っていることに気がつき、驚いています。これで事故が解決できるのでしょうか！

そもそも交通事故は、「相手の車にぶつけてやるう」とか「相手にケガを負わせてやるう」といった認識のもとに起こるわけではありません。事故になることが予測可能であったにも関わらず、注意を怠ったため（すなわち過失）によって生じるのです。

双方の運転に関しての技術・能力・経験はもとより、自己の健康状態、道路状況、周囲の環境、天候などに左右されますし、飲酒や過労、無免許などの運転未熟、整備不良などの要因で発生することも考えられます。

こうしたことも踏まえて、ひとつの交通事故でも双方の考えや思いに違いがあれば、当然、相手方を確認する位置、方向、角度、時間の認識に違いが生じることにあります。

また、車の種類によって、運転席の高低による視界の相違が生じるのは当然の結果です。

被害者も加害者も事故を起こした場合、保険会社という第三者に事故報告をすることになりますので、そこは自分を正当化しようとする意識も働くでしょうし、保険会社に誘導される部分も出てきます。そのため、報告した内容に違いが生じる場合があります。

自分の契約する保険会社の担当者との意識のズレについては、相手側と交渉するために十分な説明や理解を求めるといった配慮が必要になります。事故状況が伝えた内容と違うということであれば、再度事故現場を担当者とともに訪れるなど、改めて説明をしたほうがよいでしょう。冷静な対応で、過度な要求をしているわけでもないのにきちんと対応してもらえない、電話や手紙など一方的な連絡のみでこちら側の話を聞いてもらえないなどの場合、担当者の変更を保険会社に求めることも可能です。

今回の先生は…

一般社団法人  
交通事故被害者救済機構



松澤 毅先生  
(アストのほけん 所長)